

令和 7 年度

# 「運営に関する計画・自己評価」

大阪市立此花中学校

令和 7 年

## 大阪市立此花中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校は長年にわたり、生活指導に大きな課題を抱え、いわゆる「荒れた状態」が続いた。しかし、ここ数年の教職員の努力と、生徒の頑張り、保護者・地域の大きな協力の成果が実り、安全で、安心な学校の実現に大きく歩みを進めた。特に校内の授業規律については、確固たる体制を築くことができている。現在は概ね校内の授業をはじめ、行事や部活動、委員会活動など、様々な教育活動において落ち着いた状況の下、真面目に取り組まれている。ただし、ここ最近では対教師暴力・生徒間暴力等の問題行動事案が0ではない状況となっている。これら一部生徒の問題行動については、今後も毅然とした対応で臨む姿勢を継続していく。

令和6年度は30日以上欠席で「不登校」を理由として挙げている生徒は43名、令和5年度が46名だったので、減少となった。ただし、30日以上欠席生徒の数が単に不登校の状況を表しているかというところではないこともあり、年度内での登校と関係諸機関での学習機会の獲得と不登校の状況改善も数件みられた。校内フリースクールなどの成果は確実に出てきているように感じられる。今後より一層、不登校生徒の状況改善と不登校生徒を生み出さないため家庭・関係諸機関との密な連携での境づくりが必要である。

学力においては、学力向上の取り組みの成果が徐々に現れ、特に「学力向上支援チーム事業」で効果検証対象となった国語科では「市との差」「府との差」について平均比で1を超えることができた。今後は、さらに生徒の学習状況の分析を行い、より質の高い学習環境を構築していく。そのうえで、いまだ定着が不十分である発展的な学習内容を問う問題や課題解決型学習等にも取り組み、自らの力で将来を切り開いていける「真の学力」をつけることを課題としていく。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

1. 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 95%以上にする。

《R4:85% R5:80% R6:99%》

2. 年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 72%以上にする。

《R4:71% R5:66% R6:70%》

3. 年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 76%以上にする。

《R4:64.4% R5:74.8% R6:75.2%》

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

1. 年度末の校内調査における「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 60%以上にする。

《R4:43% R5:45% R6:59.7%》

2. 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 85%以上にする。

《R4:42% R5:35% R6:30.9%》

3. 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 85%以上にする。

《R4:47% R5:51% R6:53%》

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 【ICTの活用に関する目標】

1. 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の51%以上にする。

《R6:50%》

#### 【教職員の働き方改革に関する目標】

1. 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50.6%以上にする。《R6:50.5%》

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

1. 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を95%以上にする。

《R4:85% R5:80% R6:99%》

2. 年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を71%以上にする。

《R4:71% R5:66% R6:70%》

3. 年度末の校内調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を76%以上にする。

《R4:64.4% R5:74.8% R6:75.2%》

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

1. 年度末の校内調査における「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を60%以上にする。

《R4:43% R5:45% R6:59.7%》

2. 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を42%以上にする。

《R4:42% R5:35% R6:30.9%》

3. 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を54%以上にする。

《R4:47% R5:51% R6:53%》

### 【学びを支える教育環境の充実】+

#### 【教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

1. 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の51%以上にする。

《R6:50%》

#### 【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

1. 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50.6%以上にする。

《50.5%》

### 3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>1. 年度末の校内調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 95%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">《R4:61% R5:80% R6:81%》</p> <p>2. 年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 71%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">《R4：71% R5：66% R6：70%》</p> <p>3. 年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 76%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">《R4:64.4% R5:74.8% R6:75.2%》</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（教務部）		達成 状況
取組内容①【②豊かな心の育成 道徳教育の推進】 生徒一人ひとりの努力を適切に評価し、自己肯定感・自己有用感が持てるような取 り組みを行う。		
指標 ・学校教育診断アンケートにおいて「先生は学習で自分が努力したことを認めてくれ る」と答える生徒の割合を全体の85%以上を目指す。		
取組内容②【②豊かな心の育成 キャリア教育の充実】 生徒一人ひとりが積極的に将来について考えられるように、進路学習やキャリア学 習を積極的に取り入れ、計画して実施する。		
指標 ・学校教育診断アンケートにおいて、「将来の進路や職業について考える機会がある」 と答える生徒の割合を全体の75%以上にする。 ・年間3回以上、外部から講師を招き、キャリア教育を実施する。		
取組内容③【②豊かな心の育成 人権を尊重する教育の推進】 いじめ（いのち）について考える日を設定し、生徒一人ひとりの人権意識を高める、 また、多様な価値観を互いに認め合い、高め合えるように人権学習を実践する。		
指標 ・学校教育診断アンケートにおける「命や人権の尊さについて考える機会がある」の 項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を85% 以上にする。 ・年間1回以上外部から講師を招き、人権学習を行う。		
取組内容④【②豊かな心の育成 道徳教育の推進】 道徳教育を充実させるため、計画的に実施する。コミュニケーション能力の育成に 向け、表現活動や体験的な授業の機会を増やす。		
指標 ・学校教育診断アンケートにおいて「道徳教育は、年間指導計画に基づき計画的に行 っている」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える教 職員の割合を全体の90%以上を目指す。 ・学校教育診断アンケートにおいて「実習などの体験的な授業に積極的に参加している 」と答える生徒の割合を全体の75%以上を目指す。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
①		
②		
③		
④		
次年度への改善点		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（生活指導部）	達成 状況
<p>取組内容①【①安心・安全な教育の推進 問題行動への対応】</p> <p>学校生活を通じて、日常的に全教職員で「時間を守る」大切さを呼びかけ、あいさつ・適切な言葉遣い・服装・頭髪等の生徒の規範意識を育む指導を継続的に取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っている」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を90%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「共通理解を図り、きまりを守り、節度ある生活態度を身につけさせる生徒指導を行っている」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える教職員の割合を95%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「あいさつ指導や服装・頭髪指導を行うなど、生徒の規範意識の向上を目指している」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える教職員の割合を95%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【①安心・安全な教育の推進 不登校への対応】</p> <p>不登校生についての情報交換を密にし、教職員間の共通理解をはかる。一人ひとりの生徒が自己肯定感を高め、新たな不登校を生まない環境づくりに取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回実施されている主任会において、不登校生徒の状況について報告し、日常的に教職員間の共通理解をはかり対応する。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「先生は学習で自分が努力したことを認めてくれる」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「不登校生徒への対応については、家庭訪問や定期的な連絡で家庭と連携しながら改善を目指している」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える教職員の割合を90%以上にする。</li> <li>・校内調査において、新たに不登校になる生徒を前年度より減少させる。</li> </ul>	
<p>取組内容③【①安心・安全な教育の推進 防災・減災教育の推進】</p> <p>防災に関する知識を深め、予防意識を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおける「火災や地震が起こったとき、どうすればよいかわ知らされている」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を90%以上にする。</li> <li>・防災に関する資料等を使い、災害に対して備える意識を生徒に持たせ、避難訓練（地震津波・火災を想定）を年二回実施する。</li> <li>・避難訓練で点呼終了までにかかる時間を、4分以内におさめる。</li> </ul>	
<p>取組内容④【①安心・安全な教育の推進 いじめへの対応】</p> <p>いじめの早期発見のため、生徒の状態把握に努めるとともに、道徳教育を通じて内面的な指導を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談を年2回以上実施する。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答える生徒の割合を95%にする。</li> </ul>	



<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおける「命や人権の尊さについて考える機会がある」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を85%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「日常的に子どもの状況について情報交換が行われ、組織的に取り組めるよう教職員体制が整備されている」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える教職員の割合を90%以上にする。</li> <li>・校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（健康教育部）	達成 状況
<p>取組内容①【②安全・安心な教育の推進 安全教育の推進】</p> <p>日常の清掃活動を充実させ、自ら進んで校内美化に取り組む態度を養う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に2回以上、クリーンキャンペーンを実施する。</li> <li>・学校生活アンケートにおける「美化活動(清掃活動)に積極的に取り組んでいる」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。（前年度 84.5%）</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「校内美化は美しく保たれている」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える教職員の割合を 95%以上にする。（前年度 95.8%）</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（第1学年）	達成 状況
<p>取組内容①【②豊かな心の育成 人権を尊重する教育の推進】            基本的な生活習慣を身につけさせ、礼儀と社会的規範意識の向上を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「学校のきまり・規則を守っている」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「学校での毎日が楽しい」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「交通ルールを守り外出の仕方を考えるなど、犯罪や事故などに巻き込まれないよう安全を意識して生活している」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を75%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【②豊かな心の育成 人権を尊重する教育の推進】            すべての授業や取り組みを通じて、人権意識を高め、他人を思いやることのできる生徒を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考える機会がある」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を75%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「友達を大切にしている」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を90%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【②豊かな心の育成 人権を尊重する教育の推進】            学級や授業での班活動や委員会活動、係活動等を通して積極的なコミュニケーションを基に、互いに支えあい、協力し合える学年集団を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」、「学校行事（体育大会・文化発表会・合唱コンクール等）では自分の力を十分発揮できる」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を65%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「教育相談や進路懇談などで、相談しやすい先生がいる」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を60%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を90%以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（第2学年）	達成
------------------------------------	----

	状況
<p>取組内容①【②豊かな心の育成 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>基本的生活習慣を身につけさせ、礼儀と社会的規範意識の向上を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「学校のきまり・規則を守っている」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を90%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「学校での毎日が楽しい」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「交通ルールを守り外出の仕方を考えるなど、犯罪や事故などに巻き込まれないよう安全を意識して生活している」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【②豊かな心の育成 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>すべての授業や取り組みを通じて、人権意識を高め、積極的なコミュニケーションを基に、お互いに尊重し支えあい、協力し合える学年集団を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考える機会がある」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「友達を大切にしている」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を95%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【②豊かな心の育成 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>学級や授業での班活動や委員会活動、係活動等を通して積極的なコミュニケーションを基に、互いに支えあい、協力し合える学年集団を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」、「学校行事（体育大会・文化発表会・合唱コンクール等）では自分の力を十分発揮できる」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「教育相談や進路懇談などで、相談しやすい先生がいる」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を70%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を100%にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（第3学年）	進捗状況
<p>取組内容①【①安全で安心な教育環境の実現 不登校への対応】            基本的な生活習慣を身につけさせ、礼儀と社会的規範意識の向上を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「学校のきまり・規則を守っている」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を90%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「学校での毎日が楽しい」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を75%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【②豊かな心の育成 キャリア教育の充実】            すべての授業や取り組みを通じて、人権意識を高め、積極的なコミュニケーションを基に、お互いに尊重し支えあい、協力し合える学年集団を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考える機会がある」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を85%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「友達を大切にしている」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を85%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【②豊かな心の育成 人権を尊重する教育の推進】            学級や授業での班活動や委員会活動、係活動等を通して積極的なコミュニケーションを基に、互いに支えあい、協力し合える学年集団を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」、「学校行事（体育大会・文化発表会・合唱コンクール等）では自分の力を十分発揮できる」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を78%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を100%にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標	達成 状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>1. 年度末の校内調査における「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 60%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">《R4:43% R5:45% R6:59.7%》</p> <p>2. 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を 42%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">《R4:42% R5:35% R6:30.9%》</p> <p>3. 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 54%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">《R4:47% R5:51% R6:53%》</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（教務部）	達成 状況
<p>取組内容①【④誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 対話的な授業を展開し、生徒一人ひとりが考えを深めたり、広げたりできる機会を増やす。</p> <hr/> <p>指標誰一人取り残さない学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>・年間15回以上、此花タイムを設定して学びなおしの機会を設ける。</li> </ul>	
<p>取組内容②【④誰一人取り残さない学力の向上 言語活動・理数教育の充実】 授業や取り組みの中で、言語活動を積極的に取り入れ、生徒が主体となって発表する場面を増やす。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおける「授業で自分の考えをまとめたり発表することがある」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を75%以上にする。</li> <li>・生徒が主体的に前に出て、発表する行事を年間3回以上行う。</li> </ul>	
<p>取組内容③【④誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 各教科からの課題をしっかりと提出させ、家庭学習の習慣を定着させる。自ら学ぶ態度を養い、学力の向上を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生中学校チャレンジテストにおける対府平均を前年度（2年次）より1ポイント増加させる。</li> <li>・3年生中学校チャレンジテストにおける対府平均との差を全教科5ポイント以内に</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（健康教育部）	達成 状況
<p>取組内容①【⑤健やかな体の育成 健康教育・食育の推進】</p> <p>生涯にわたり健康な心身を保持増進できるように、生活習慣や自己管理能力を身につけさせる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおける「保健だより等を活用し、健康的な生活が送れるよう基礎的な知識を身につけさせている」の項目について肯定的に答える教職員の割合を 100%にする。（前年度 100%）</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「栄養バランスや食べる時間・量等を考えて好き嫌いなく食事をするように心がけている」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を 70%以上にする。（前年度 73%）</li> <li>・学期に 2 回以上『食育だより』を発行し、生徒や保護者に「健康や体力を保持増進する力を育成する。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	



年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 (ICT 教育推進委員会)	達成 状況
<p>取組内容①【④誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】            授業力向上に向けて、授業における ICT 機器の補完的活用法を研究する。            あわせて、ICT 機器の整備と効率的な運用を図る。</p> <hr/> <p>指標            ・学校教育診断アンケートにおける「学校は、ICT 機器を活用して、授業実践に            努めている」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える保            護者の割合を 65%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（キャリア教育委員会）	達成 状況
<p>取組内容①【②豊かな心の育成 キャリア教育の充実】</p> <p>社会の一員としてのあり方や興味・関心に基づく勤労観・職業観を育成するために、実社会で働く人々からの支援や地域社会と連携を通しての生き方、また進路に関する体験的な学習など、系統的なキャリア教育の進め方について研究する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で外部の講師による出前授業を実施し、3年間一貫したキャリア教育を行う。</li> <li>・1年生での「職業講話」や2年生での「職場体験」を通して、生徒には将来何をしたいか、どんな職業に就きたいかということを考えさせ、早期より進路展望を持たせる。</li> <li>・3年生においては、オープンスクールや各高等学校の体験授業などに積極的に参加するように呼びかけ、より具体的な進路獲得に向けた意識付けを継続して行う。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「将来の進路や職業について考える機会がある」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を90%以上にする。（昨年度 87.5%）</li> </ul>	
<p>取組内容②【②豊かな心の育成 キャリア教育の充実】</p> <p>進路についての目的意識を高めるために、体験学習・学校説明会への参加の推進、進路説明会などによる進路情報の提供、進路資料を活用した学級活動や進路相談を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がより具体的に、中学卒業後の進路を考えられるようにするために、体験学習や学校説明会に参加する生徒を増やす。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「教育相談や進路懇談などで、相談しやすい先生がいる」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を75%以上にする。（昨年度70%）</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（人権教育委員会）	達成 状況
<p>取組内容①【②豊かな心の育成 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>豊かな人権感覚の育成をめざし、人権教育の指導計画を作成する。人権教育の実践を行い、授業展開を工夫して内容の充実を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の年間指導計画を作成し、各学年で実践を行う。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考える機会がある」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を85%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「人権教育の推進に努め、生徒が命の尊さや社会のルールについて学ぶ教育活動を推進している」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える教職員の割合を90%以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（道徳教育委員会）	達成 状況
<p>取組内容①【②豊かな心の育成 道徳教育の推進】</p> <p>道徳の年間指導計画を作成し、授業を確実に行う。生徒一人ひとりの成長がみられる授業を展開し、適切な評価を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳という教科を通じて、生徒一人ひとりの成長を促すような授業展開を行う。 （例：自分と違う意見を理解しようとしているか。登場人物におきかえて理解しようとしているか。自分の事として捉え、考えようとしているか。）</li> <li>・学校教育診断アンケート（保護者用）における「子どもには道徳観やマナーがよく身についている。」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える保護者の割合を75%以上にする。（前年度 74.6%）</li> <li>・学校教育診断アンケート（生徒用）における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える保護者の割合を 80%以上にする。 （前年度 80.6%）</li> <li>・学校教育診断アンケート（生徒用）における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える保護者の割合を 90%以上にする。（前年度 95.1%）</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（第3学年）	進捗状況
<p>取組内容①【④誰一人取り残さない学力向上 言語活動・理数教育の充実】</p> <p>一人ひとりが自分の限界を突破でき、自信を持って学習に取り組めるようにきめ細かな指導をこころがける。</p> <p>言語活動の充実を図るために、朝の学習の徹底、作文指導に力を入れる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生チャレンジテストにおける国語および英語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。</li> <li>・令和 7 年度末の校内調査の「習熟度別少人数授業やグループ別の授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童(生徒)の割合を、<u>40%</u>以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（国語科）	達成 状況
<p>取組内容①【④誰一人取り残さない学力向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 国語を適切に表現し、自主的、意欲的に理解を深められるような、授業内容の創造と教材づくりを行い、段階的な課題を用意する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な課題を設け、課題の提出率が80%以上に達するように指導する。</li> <li>・授業アンケートにおける「国語の授業は楽しい」「国語の授業は好き」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【④誰一人取り残さない学力向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 言語活動の推進や、読解力を育成するカリキュラムを取り組み、学力向上へとつなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章要約などの読解力を向上させる取り組みを増やし、定期テストの「思考・判断・表現」分野の正答率が60%以上に達するよう指導する。</li> <li>・授業アンケートにおける「国語の授業はわかる」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【④誰一人取り残さない学力向上 言語活動・理数教育の充実の推進】 国語を学ぶ上で基礎基本となる語彙力を高め、言語を通した思考力を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字小テストなどの知識分野の小テストを年間50回以上行う。</li> <li>・漢字や文法などを繰り返し練習させて基礎学力の向上を図り、定期テストの「知識・技能」分野の正答率が60%以上に達するよう指導する。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（社会科）		達成 状況
取組内容①【④誰一人取り残さない学力向上 全市共通テスト等の実施と分析・活用】 基礎学力の定着を図って、全体のボトムアップをめざす。		
指標 ・基礎知識の定着のために、小テストや確認テストを年間 30 回以上は実施する。 ・3 年生中学校チャレンジテストにおける対府平均を前年度（2 年次）より 1 ポイント増加させる。		
取組内容②【④誰一人取り残さない学力向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 ・言語活動を通じて、自分の考えを深めたり、まとめたりして、授業のなかで発表する機会を充実させる。		
指標 ・各学年、授業内でグループワークや課題解決型の授業を学期に 2 回以上実施する。 ・授業独自アンケートにおける「授業で自分の考えをまとめたり発表することがある」の項目について「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を 70%以上にする。		
取組内容③【④誰一人取り残さない学力向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 ・ICTや実物教材を活用して、生徒の興味関心を引き付け、主体的に学ぶ態度を育てる。		
指標 ・各学年、学期に10回以上はICT機器を使用する。 ・社会科教室をさらに整備し、年間10回以上社会科教室を使用して実物教材等を使用した授業を行う。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（数学科）	達成 状況
<p>取組内容①【④誰一人取り残さない学力の向上 言語活動・理数教育の充実】 基礎的・基本的な概念や知識の定着をめざすとともに、数学的活動を通して思考力・判断力・表現力の育成を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同一学年で、中学校チャレンジテストにおいて、府平均との差を前年度より減少させる。</li> <li>・同一学年で、2、3年生中学校チャレンジテストにおける正答率5割以下の生徒を前年度より2パーセント減少させる。</li> <li>・2、3年生中学校チャレンジテストにおける正答率7割以上の生徒を前年度より2パーセント増加させる。</li> <li>・アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を60%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【④誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 計画的に習熟度別授業を実施することにより、「個に応じた教育」を進め、学力向上へとつなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別授業を通年で計画的に実施する。</li> <li>・習熟度別授業実施前後に授業についてのアンケートを実施し、「授業はわかりやすい」の項目において事前から事後へのアンケート結果を向上させる。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	



年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（理科）	達成 状況
<p>取組内容①【②誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 自然現象に対して自主的、意欲的に理解を深められるような、授業内容の創造と教材づくりをおこなう。</p> <hr/> <p>指標 ・アンケート項目「理科の勉強は好き」に肯定的に解答する生徒の割合を50%以上にする。（前年度 70.4%）</p>	
<p>取組内容②【②誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 演示実験やプリント教材を有効に活用し、基礎的・基本的な学力の向上を図る。</p> <hr/> <p>指標 ・小テストを行い平均点70%以上にする。（前年度 71.2%）</p>	
<p>取組内容③【②誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 実験・観察を多く取り入れことにより、様々な自然現象について論理的に説明する能力を育成する。学習した内容について演習問題を通じて応用力を身につける。</p> <hr/> <p>指標 ・演示実験を含めた実験・観察やICTを用いた授業を月に10回以上行い、結果・考察を記述させる活動を行う。（前年度 15回）</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（英語科）	達成 状況
<p>取組内容① 【④誰一人取り残さない学力の向上 言語活動・理数教育の充実】 英語での表現活動を多く取り入れることにより、表現力を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学３年生の中学校チャレンジテストにおける府平均と校内平均の差を同一の母集団で比較し、前年度よりも差を縮める。</li> <li>・授業アンケートにおける「授業で自分の考えを発表する場がある。」の項目について、「そう思う・だいたいそう思う」と答える生徒の割合をいずれの学年も 65%以上にする。</li> <li>・授業アンケートにおける「言語活動（ペアワークやグループワーク）に積極的に取り組んでいる。」の項目について、「そう思う・だいたいそう思う」と答える生徒の割合をいずれの学年も 70%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容② 【④誰一人取り残さない学力の向上 「主体的・対話的で深い学び」の推進】 個に応じた指導方法を工夫し、基礎的・基本的な学力の向上を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学３年生の中学校チャレンジテストにおける正答率５割以下の生徒を同一の母集団で比較し、前年度より２ポイント減少させる。</li> <li>・授業アンケートにおける「習熟度別少人数授業はわかりやすい」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>・授業アンケートにおける「英語の授業は分かる」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を70%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③ 【④誰一人取り残さない学力の向上 英語教育の強化】 英語を活用する実践的な力と積極的な態度を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C-NET（大阪市外国人英語指導員）の授業を、各学年、毎月１時間程度実施する。</li> <li>・授業アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動に積極的に参加している」の項目について、「そう思う・だいたいそう思う」と答える生徒の割合を 80%以上にする。</li> <li>・授業アンケートにおける「C-NET の先生と積極的に話している」の項目について、「そう思う・だいたいそう思う」と答える生徒の割合を 60%以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（音楽科）	達成 状況
<p>取組内容①【④誰一人取り残されない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 基礎発声の継続的な練習と、感性を育て表現力を培うためのよりよい教材の精選、生徒の興味・関心を生かした意欲的な学習を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回、歌唱もしくは器楽の実技テストを行い、表現活動における個々の次の目標設定に役立てる。</li> <li>・年に1回以上、実技テストを兼ねた発表会を行い、互いのがんばりを認め合う機会とする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【④誰一人取り残されない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 幅広い音楽分野の表現と鑑賞活動により、多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じとり、表現の創意工夫につなげていく。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年とも学期に1回以上の鑑賞を行う。その際、西洋音楽に偏らず、世界の民族音楽や日本の伝統音楽も取り上げる。</li> <li>・合唱コンクールへの練習や発表を通してクラスのまとまりや協調性を育てるとともに、他クラス、他学年の演奏を聴いてそのよさや美しさを味わわせる。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（技術家庭科）	達成 状況
<p>取組内容①【④誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】            班活動による実習の中で役割分担や学び合いを通して、個人の知識・技能をより一層向上できるような取組内容や教材を精選する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験、実習等の体験的学習を総時数の6割以上取り入れる。</li> <li>・実習においては事前学習・安全指導を徹底し、大事故で救急搬送される生徒を一人も出さない。</li> <li>・班活動を取り入れた実習を各学期に1回以上行う。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおける「実習などの体験的な授業に積極的に参加している」の項目において、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合を全学年通して80%以上にする。（前年度86.1%）</li> </ul>	
<p>取組内容②【④誰一人取り残さない学力の向上 言語活動・理数教育の充実】            家庭での生活を思い浮かべ、改善する意欲と技能を高める授業づくりを行い、工夫し創造する能力の育成につなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の授業において、技術・家庭科ともに年に5回以上ICTを活用する。</li> <li>・各領域で1回は自分や家族の生活を思い浮かべる授業内容を実践する。</li> <li>・作品作りで、1回は自己評価や振り返りのプリントを利用した言語活動を取り入れる。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（美術科）	達成 状況
<p>取組内容①【④誰一人取り残さない学力の向上 言語活動・理数教育の充実】 造形的なよさや美しさ、素材の生かし方、作者の心情や意図と造形的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう力を養うため、鑑賞活動の充実を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業開始時に5分間スケッチをおこない、6点満点で採点し、その平均得点を3.6点以上になるよう指導する。</li> <li>・鑑賞の授業を年3回実施し、考えや思いを述べる機会を増やす。</li> </ul>	
<p>取組内容②【④誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 主体的に美術の活動に取り組み、心豊かに創造していく意欲と態度を高め、発想・構想力を養うためにスケッチの学習を充実させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各個人が学習の記録を使い前回の学習を振り返り、主題を生成し、主体的に取り組める環境を整える。そのために、学習の記録の提出率を90%以上にする。</li> <li>・鑑賞の授業を学期に1回以上実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容③【④誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学びの推進】 各学期での授業課題について完成まで取り組めるよう放課後に補習を実施し、未完成の生徒の数を1クラスにつき3人以下に減少させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の授業補習を各学年で各学期につき3回以上行い、未完成の生徒の数を1クラスにつき3人以下に減少させる。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（保健体育科）	達成 状況
<p>取組内容①【⑤健やかな体の育成 体力・運動能力向上のための取組の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初、男女共修での集団育成を重点的に行い、授業規律の確立、授業への意識の向上を図る中で授業効率を高め、運動量の確保に取り組む。</li> <li>・教科書やワークシートで知識の理解を深め、タブレットを活用し、視覚的にもわかりやすい授業展開を図る。</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力・運動能力、運動習慣調査における生徒質問項目において保健体育の授業内容が将来に役立つか、目標を立てて体力テストに取り組んでいるかの数値を全国平均より向上させる。</li> <li>・年間で3回以上ICTを活用した授業に取り組む。</li> </ul>	
<p>取組内容②【⑤健やかな体の育成 体力・運動能力向上のための取組の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施後の結果を全国・大阪府と比較分析したものを掲示し、自己の記録との比較を通して、課題を見つけさせるなど、生徒の意識向上を図る。</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力・運動能力、運動習慣調査における段階別総合評価（A～E）の内、A Bの割合を男女共に32%以上にする。</li> <li>・全国体力・運動能力、運動習慣調査における段階別総合評価（A～E）の内、D Eの割合を男子27%以下、女子20%以下にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（文化行事委員会）	達成 状況
<p>取組内容①【②豊かな心の育成 道徳教育の推進】</p> <p>「文化発表会」を日頃の教育活動の成果を発表する場として位置づけ、仲間とともに、一つのものを作り上げることで、協力することの大切さを学ぶ機会とする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化発表会において、日頃の教育活動の成果を発表する。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「学校行事（文化発表会・合唱コンクール等）では自分の力を十分発揮できる」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合について 70%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「子どもは学校行事を楽しみにし、積極的に参加している」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える保護者の割合について 70%以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（体育行事委員会）	達成 状況
<p>取組内容①【⑤健やかな体の育成 体力・運動能力向上のための取組の推進】</p> <p>体育の授業を通して集団育成をめざすとともに、「何事にも全力で取り組める精神」の育成に努める。体育大会や学年ごとのスポーツ大会などさまざまな学校行事を通して体力の向上をはかる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きである」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える生徒の割合について 78%以上にする。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて、「子どもは学校行事を楽しみにし、積極的に参加している」の項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える保護者の割合について 77%以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	



年度目標	達成 状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>【教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</b></p> <p>Ⅰ．授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の51%以上にする。《R6:50%》</p> <p><b>【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>Ⅰ．年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50.5%以上にする。《R6:50.5%》</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標（教務部）	達成 状況
<p>取組内容①【⑦人材の確保・育成としなやかな組織づくり 教員の資質向上・人材の確保】</p> <p>学校目標や今日的課題を含めた諸課題に基づき、各種の校内研修会を実施する。よりよい教育方法の研究に努め、教育活動実践上の様々な課題について研修を深める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校目標や今日的課題を含めた諸課題に係る研修を年間5回以上実施する。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「校内研修は、教育実践に役立つ有益なものとなっている」と答える教職員の割合を全体の90%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【⑦人材の確保・育成としなやかな組織づくり 教員の資質向上・人材の確保】</p> <p>年1回の相互授業参観をすべての教員が行い、全教員が互いの指導力向上を目指して研鑽を積む。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互授業参観を、全教職員が1回は行う。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「教員間で指導内容・指導方法について話し合いを日常的に持ち、工夫と改善を行っている」と答える教職員の割合を全体の90%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【⑨家庭・地域等と連携・協働した教育の推進 教育コミュニティづくりの推進】</p> <p>小中の交流を深めるために、連携会議を行い、部活動体験や入学前オリエンテーションなどを計画し、実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間2回以上、小中で連携会議を行う。</li> <li>・中学校での体験学習や部活動見学・体験や入学前オリエンテーションを実施する。</li> <li>・学校教育診断アンケートにおいて「校下小学校と連携する機会を設け、小中の円滑な接続に努めている」と答える教職員の割合を90%以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 (ICT 教育推進委員会)	達成 状況
<p>取組内容①【⑥教育 DX の推進 ICT を活用した教育の推進】 ICT 機器を活用した授業の研究・ならびに実践を進めていく。</p> <hr/> <p>指標 ・学校教育診断アンケートにおける「ICT 機器を活用した授業実践に努めている」項目について、「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と答える教職員の割合を 90% 以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	